

【1月・2歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (3歳9カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (3歳8カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (3歳7カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (3歳6カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. スモックや帽子を自分で身に付けようとする意欲があり、上手くない場合には保育者に「手伝って」と声をかける姿が見られる。 2. 外遊びで遊具を使って身体を動かすことに意欲的で、すべり台やブランコに挑戦しながら、バランスを取りながら楽しんでいる。 3. 友だちの遊び方をよく観察してから、自分も同じように真似して遊ぶことが増え、友だちとの関わりを意識する姿が見られる。	1. 保育者が登園時に手を繋ぐと、少し落ち着きを取り戻す様子が見られ、母と離れることが以前よりスムーズになりつつある。 2. 園庭では雪や霜を使って遊びの発想が豊かになり、自ら「雪のお店」などと名付けて友だちとごっこ遊びを楽しむ姿が見られる。 3. 時折自分の意見が通らないと癇癪を起こすが、「雪の代わりに砂でやってみようね」など別の方法を提案すると気持ちを切り替えられることが増えてきた。		
ねらい	1. 身の回りのことを自分でやろうとする 2. 体を動かすことを通して、遊具の使い方を学ぶ	1. 保育者と手を繋ぐことで安心し、自分から母と離れて登園する 2. 冬の自然に触れながら友だちとのやり取りを楽しむ		
内容	1. 保育者に見守られながら、スモックの着脱や帽子の被り方に挑戦し、できる部分を増やす。 2. 保育者の声掛けを通じて、すべり台やブランコなどの遊具を安全に使いながら、バランス感覚を養う。	1. 登園時に保育者と手を繋ぎ、「今日は何して遊ぶ？」などと声を掛けられることで、母から離れる際の不安を軽減する。 2. 雪や霜などを使った遊びの提案を受け入れ、ごっこ遊びで役割を持ちながら楽しむ。		
環境構成 配慮 援助	1. 保育者は「スモックを広げて、片方の手を入れてみようか」などの声掛けを行い、着脱の手順を理解できるようにサポートする。時間がかかるときも焦らず待ち、できた時には「上手にできたね」と声をかけて、達成感を味わえるようにする。 2. 外遊びでは、保育者が「ここで足をしっかりとつけて滑ってみようか」など声を掛け、安心して遊具に挑戦できるように支援する。友だちと順番を守りながら遊ぶことができるように見守りつつ、危険な行動を取らないようにさりげなく誘導する。	1. 登園時には、保育者が手を差し出して自然に繋ぎ、「今日は誰が来ているか見に行こうか」など会話のきっかけを作りながら気持ちを整え、部屋に入れるようサポートする。無理せず気持ちが切り替わるようにすることで、安心感を育てる。 2. 園庭遊びでは、雪や霜を使った遊びに関心が向けられるよう、軽いスコップやバケツなどを用意し、友だちと協力して役割を分け合える場面を促す。保育者も「雪のお店、何を売っているのかな？」などと会話に参加し、豊かな発想を育む。		
食事	・野菜の苦手な食材について、好きな食材と一緒に盛り付けてみると一口食べることが増えた。 ・引き続き楽しい雰囲気を作りながら少しずつ食べられるよう援助する。	・冬の食材や季節の食べ物に興味を持ち、「これは何？」と聞く場面が増えている。 ・食材に関心を持ち、季節感を楽しみながら食事ができるよう援助する。		
家庭との連携	3. 保育園で友達と遊ぶことを楽しんでいる様子を伝え、家庭でも友達の話を取り入れた会話を楽しんでもらえるよう勧める。 ・冬の寒さが厳しくなっているため、手洗いやうがい継続してもらおうように家庭にお願いし、感染症の予防に協力を依頼する。	3. 引き続き癇癪を起こすことがあるため、家庭での癇癪対応法について共有し、一貫した対応ができるよう配慮する。 ・冬ならではの活動で遊ぶ中で、雪や氷、寒さに興味を持っている様子を家庭にも伝え、家庭でも散歩などを通して自然に触れながら、季節感を楽しくする機会を持てるように提案していく。		
評価・反省	1. 自分でスモックの着脱をしようとする姿が見られ、少しずつ手順を覚えてきている。引き続き、達成感を感じられるように見守りながら援助をしていきたい。 2. すべり台やブランコで楽しむ姿が見られたが、他の友達とぶつかりそうになる場面もあった。安全に遊べるように、引き続き保育者が注意を払いながら見守っていきたい。	1. 母と離れる際に保育者と手を繋ぐことで安心でき、スムーズに登園する場面が増えた。引き続き不安感が少しずつ緩和されるよう、手を繋いだり声かけを続けていきたい。 2. 園庭では雪や霜を活用した遊びに積極的に参加し、友だちと楽しみながら遊びを展開する姿が見られた。季節の自然と触れ合うことで想像力が引き出されているため、今後も自然を題材にした遊びを取り入れながら興味を深めていきたい。		

無料版：2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能！

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成・配慮・援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記: ウェブサイトに当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。